

# 平成30年度 自己評価書

学校名	和歌山市立八幡台小学校
校長氏名	志場 俊之
作成日	平成31年 2月15日

## 1 教育目標

<b>強く・正しく・美しい心を持つ子どもの育成</b>	○心身ともにたくましく、意欲を持って粘り強く考える子 ○豊かな心を持ち、思いやりのある子 ○正しい判断のもと自ら進んで実践する子
-----------------------------	--

## 2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
<b>指標</b>	○漢字博士試験合格90% ○全国学力・学習状況調査及び県学習到達度調査結果の引き上げ	○「心のとびら」活用5実践以上 ○いじめの解消率100%	○朝ごはん実施率100% ○生活習慣チェック合格率95%以上	○学校行事ごとの地域回覧板活用による情報発信率100% ○ホームページ更新随時
<b>重点目標</b>	◎主体的に学習に取り組む子どもの育成 ◎基礎・基本の定着	◎道徳教育の充実、道徳的実践力の養成 ◎いじめの未然防止、早期発見 ◎人権意識の向上	◎基本的生活習慣の確立 ◎体力向上の推進	◎家庭・地域との連携充実 ◎中学校区における学校間連携の推進
<b>取組の状況</b>	○学びの共同体の考え方を生かした学習活動を計画し、グループでの学び合いにより、学習内容の理解を図った。 ○朝学タイムや家庭学習の時間等を活用し、基礎学力の定着を図った。 ○研究授業を行い、学びの共同体の考え方を共有し、日頃の授業でも実践した。	○道徳の教科書及び「心のとびら」等を活用し、道徳的実践力を養った。 ○いじめアンケート調査等により、自分の行動を振り返らせた。 ○仲間作りに重点を置き、学級での集会等を計画し、仲間意識を持たせた。	○「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨し、保護者への啓発を行った。 ○学期ごとに生活習慣アンケートを実施し、指導に生かした。	○学校便りやホームページ等による情報発信を行った。 ○学校行事等へ参加しやすい環境作りを行った。 ○地域の人材を把握し、積極的に交流を呼びかけた。 ○学校運営協議会の提言を、教育活動に生かした。
<b>取組の成果と課題 (評価結果)</b>	○校内で指導方法を共有でき、ある程度統一した指導ができるようになった。 ○漢字博士試験にも児童の意欲的な取組が見られるようになった。 ○全国学力・学習状況調査の対策も職員で統一し、そのための取組をプリント学習等で行い、意欲的に取り組むようになってきている。	○どの学級も大きなめ事もなく、落ち着いて学校生活を営むことができた。 ○いじめ等もその場で解決するような内容が報告されたのみである。 ○教育計画通り、道徳の授業を一つ一つ丁寧に扱うことができた。	○各学期ごとに、長期休業明けに生活習慣アンケートを実施した結果、早期に落ち着きを取り戻すことができた。 ○朝ごはん実施率は95%以上となったが、残りの5%については、啓発を続けているもののなかなか改善されていない。 ○学校を挙げて啓発に取り組んだが、上げ止まり傾向である。	○学校の行事等の地域への呼びかけには積極的に協力してくれた。ボランティア団体として人材登録することで、傷害保険に加入し万が一に備えた。 ○木本地区、西脇地区ともに登下校時の地域の見守り活動が活発になった。 ○ホームページ等への反応が多くなり、学校からの発信も行事のたびに行うことができた。
<b>改善方法 (次年度に向けて)</b>	○新体制になる年度初めから指導方法を再確認し、共通した指導で安心して学べる形を確立させたい。 ○漢字博士試験への取組を年間通じて行う。 ○多くの図書に触れるよう読書環境を充実させる。	○道徳教育をより一層充実させるとともに、相手を思いやる心が育つような学級指導に取り組む。 ○子どもの情報を共有し、変わった様子が見られた場合、素早く対応できるよう組織で動くことを徹底する。	○長期休業明けの子どもの実態を把握し、学習・生活のリズムが安定するよう適切なアドバイスをを行う。 ○早寝早起きを推奨する。 ○季節にあった運動を提案し、体力の向上を図るとともに、運動の楽しさを伝える。	○学校と地域の垣根をなくし、どの行事でも家庭や地域の方が足を運べるような学校を目指す。 ○新たに図書ボランティアを保護者から募り、子どもの読書環境の充実を図る。 ○ホームページや回覧板等による情報発信を積極的に行う。

## 3 その他の課題

--